



特集1 岡山県国際交流協会 創立30周年の歩み	P 2-P 3
特集2 情報公開	P 4
特集3 新型コロナウイルス感染症に関する 外国人相談状況	P 5
事業報告 岡山県地域国際化推進団体連絡協議会 ほか	P 5-P 6
外国人リレーエッセイ 私の何でも自慢 カズノビッシュ・アヌシカさん(インド出身)	P 7
外国人のための情報コーナー 困ったときの緊急連絡先	P 8
Think Global, Act Local ～県内国際団体のご紹介～ 倉敷国際親善協会(KAIF)	P 8
研修員からの便り メイ・ティン・チュウさん(ミャンマー出身)	P 9
イベントカレンダー 国際貢献・協力セミナー ほか	P 9

おかやま 国際交流



岡山県国際交流協会は創立30周年、
岡山国際交流センターは設立25周年を迎えました。



初級1



中級1



初級2



中級2

火曜日夜のクラス

日本語講座

講師：特定非営利活動法人岡山日本語センター(OJC)、岡山日本語教師ネットワーク(ONN)

通年開催

岡山県国際交流協会では、県内在住の外国人を対象に、地域で生活するために必要な日本語を身につけられるように日本語講座を開催しています。

各クラスの講師はOJCテキスト(5種)や「みんなの日本語」の教科書などを使い、国籍、年齢、職業の異なる受講生の生活に合わせて指導内容を工夫しながら授業を行っています。

日本語学習だけでなく日本料理教室、七夕、習字など日本の文化を理解するための文化授業も実施しています。

123名の受講生は、日本で仕事をしたい、日本人の友達と話をしたいなど目的に向けて日々励んでいます。

岡山県国際交流協会 創立30年の歩み

創立30周年を迎えて



一般財団法人岡山県国際交流協会
代表理事 **野崎 泰彦**

創立30周年を迎えるにあたり、会員をはじめ関係の皆様方に深く感謝を申し上げます。

当協会は、国際交流の推進や国際協力・貢献などに長年に亘り取り組んでまいりました。昨年度からは、県民と外国人の方々が共に安心して暮らせる多

文化共生の地域づくりという課題に向け、新たに外国人相談センターを立ち上げ、多くの外国人の方にご利用いただいております。

ご承知のように新型コロナによる影響を当協会としても受けているところですが、今後とも地域国際化の中核組織として、多種多様化するニーズに即した広域多岐に亘る取組みを皆様方と共に進めてまいりたいと考えております。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

協会30年の歩み

1991年(平成3年)

- 3月 ● 財団法人岡山県国際交流協会発足
- 外国人相談室の設置
- 英字新聞発行(～2006年)
- 「日本語講座」開講
- 5月 ● 会報誌「おかやま国際交流」創刊
- 「にここウォーク」開始(～1999年)
- 12月 ● 「外国人による日本語弁論大会」開始(～1996年)
- 「岡山県国際交流学生ボウリング大会」開始(～2006年)

1992年(平成4年)

- 2月 ● 「国際交流スキー教室」開始(～2005年)(右上写真①)
- 5月 ● 「中国語講座」開講
- 9月 ● 「国際交流フェスティバル」開始(名称変更、～1998年まで共催)

1993年(平成5年)

- 3月 ● 「さよなら岡山の夕べ」開始(名称変更、～2017年)
- 4月 ● 岡山国際交流ヴィラ受付業務開始(～2006年)
- 6月 ● 「地球市民講座」開始

1994年(平成6年)

- 5月 ● 「英会話サロン」開始(～2007年)

1995年(平成7年)

- 6月 ● 岡山国際交流センターオープン
- 7月 ● オープン記念イベント「地球フォーラム」、「世界の笑顔写真展」ほか開催
- 9月 ● 「子供たちのための国際理解講座」開始(～2003年)
- 11月 ● 「外国人のための無料法律相談」開始

1996年(平成8年)

- 6月 ● 「インターナショナルフレンドシップデー」開始(～2006年)(右写真②)
- 10月 ● 「JTB国際人マナーセミナー」開始(～2002年)



①国際交流スキー教室

〈スキー教室 1992年～2005年〉

国際交流スキー教室のきっかけは、カナダのモントリオール大学に勤務中に学生とスキーを楽しんだ私と妻の提案でした。雪を知らない留学生を招きました。

岡大留学生会館を出発するまでに傷害保険に加入してもらうのが条件でしたが、「私は決して怪我をしません」と主張する学生を説得して、それからバスに乗ってもらったものでした。あの頃の皆さん、どうされているのでしょうか。

評議員 沖垣 達



②インターナショナルフレンドシップデー

1997年(平成9年)

- 8月 ●「国際貢献ボランティア養成講座」開始(～2007年)
- 11月 ●「英語による講演会」開始(～2003年)

2000年(平成12年)

- 9月 ●岡山国際交流センター5周年記念事業
「国際貢献フォーラム in おかやま」開催
- 10月 ●「シニアボランティア養成全国リレー講演」開催

2002年(平成14年)

- 2月 ●協会ホームページ完成
- 3月 ●ボランティア登録制度「国際ボランティア人材バンク」創設
- 9月 ●「おかやま地球市民フェスタ」開始(～2009年)

2003年(平成15年)

- 7月 ●「外国人のためのおかやまライフセミナー」開始(～2008年)

2004年(平成16年)

- 9月 ●「国際貢献ボランティア養成講座現地研修会」開始(～2007年)

2006年(平成18年)

- 9月 ●「岡山を知ってもらおう～交流バスツアー」開始

2010年(平成22年)

- 4月～ 協会創立20周年事業展開
 - OPIEFロゴマーク募集・決定(右画像③)
 - 「一日ブラジル総領事館」開始(～2014年)
 - 「ハドソン・シャッド コンサート」開催(右写真④)



③OPIEFロゴマーク



④ハドソン・シャッド コンサート

2013年(平成25年)

- 4月 ●情報相談コーナーリニューアル

2014年(平成26年)

- 5月 ●公式Facebook開始、「OPIEF MOVIE CHANNEL」開設
- 7月 ●「岡山のCOOL発見!」開始(～2019年)
- 11月 ●「話してみよう韓国語岡山大会」開始(～2016年)



⑤日本文化体験・交流会

2015年(平成27年)

- 10月 ●「岡山県国際交流協会創立25周年
岡山国際交流センター開設20周年記念講演会」開催

2016年(平成28年)

- 7月 ●「日本文化体験・交流会」開始(右写真⑤)

2017年(平成29年)

- 4月 ●災害時多言語支援センター設置事業開始

2018年(平成30年)

- 3月 ●公式Twitter 開始

2019年(平成31年/令和元年)

- 4月 ●岡山県外国人相談センター開設(右写真⑥)



⑥岡山県外国人相談センター開設

2020年(令和2年)

- 岡山県国際交流協会創立30周年、岡山国際交流センター開設25周年

〈日本語講座 1991年～〉

県内に住む外国人が増加し始めた昭和の終わり頃、NPO法人岡山日本語センター(OJC)は、多文化共生社会を目指す岡山県の依頼を受けて日本語教育を開始しました。

平成になると、外国人が地域の人々となじめる日本語指導が強く求められ、協会が創立時に開講した日本語講座を担当しました。平成7年には「岡山国際交流センター」がオープンし、岡山日本語教師ネットワーク(ONN)も加わって瞬く間に受講生は膨らみました。

学習者の経歴や学習目的は千差万別ですが、多文化の花が咲き誇る教室の友愛と笑顔と信頼の輪は今後も岡山の誇りであり続けるでしょう。

理事 浦上 典江

平成31年度収支計算書(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

総括表

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	44,766,746	44,766,746	0
② 特定資産運用収入	1,129,197	1,129,197	0
③ 会費収入	1,402,000	1,402,000	0
④ 事業収入	804,786	6,000	798,786
⑤ 負担金収入	1,382,672	150,000	1,232,672
⑥ 補助金収入	100,000	100,000	0
⑦ 受託事業収入	52,000,993	7,492,218	44,508,775
⑧ 利用料金収入	86,999,775	0	86,999,775
⑨ 雑収入	7,715,386	4,162,046	3,553,340
⑩ 他会計繰入金収入	0	0	0
事業活動収入計	196,301,555	59,208,207	137,093,348
2 事業活動支出			
① 事業費支出	157,013,875	10,887,395	146,126,480
② 管理費支出	18,581,056	18,581,056	0
③ 他会計繰入金支出	0	0	0
④ その他の支出	71,000	0	71,000
事業活動支出計	175,665,931	29,468,451	146,197,480
事業活動収支差額	20,635,624	29,739,756	△ 9,104,132

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 基本財産取崩収入	900,000,000	900,000,000	0
② 特定資産取崩収入	2,000,000	2,000,000	0
③ 建物付属設備売却収入	0	0	0
投資活動収入計	902,000,000	902,000,000	0
2 投資活動支出			
① 基本財産取得支出	900,000,000	900,000,000	0
② 特定資産取得支出	554,775	554,775	0
③ 建物付属設備取得支出	0	0	0
投資活動支出計	900,554,775	900,554,775	0
投資活動収支差額	1,445,225	1,445,225	0
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入	0	0	0
2 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	22,080,849	31,184,981	△ 9,104,132
前期繰越収支差額	20,911,781	6,334,715	14,577,066
次期繰越収支差額	42,992,630	37,519,696	5,472,934

一般財団法人岡山県国際交流協会 評議員名簿

令和2年6月1日現在

役職名	氏 名	職 名
評 議 員	伊 藤 敦 哉	岡山県県民生活部長
〃	沖 陽 子	公立大学法人 岡山県立大学学長
〃	沖 垣 達	重井医学研究所名誉所長
〃	奥 井 浩 平	日本貿易振興機構（ジェトロ）岡山貿易情報センター所長
〃	亀 森 敏 宏	岡山県町村会事務局長
〃	神 崎 浩 二	岡山県経済団体連絡協議会事務局長
〃	久 山 裕 士	一般社団法人 岡山経済同友会 専務理事・事務局長
〃	小 西 洋 史	岡山県市長会事務局長
〃	高 橋 邦 彰	岡山商工会議所専務理事
〃	原 田 育 秀	株式会社 中国銀行 代表取締役専務

(五十音順)

一般財団法人岡山県国際交流協会 役員名簿

令和2年6月11日現在

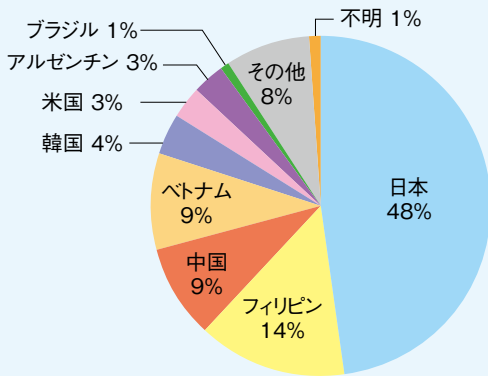
役職名	氏 名	職 名
代 表 理 事	野 崎 泰 彦	岡山県経営者協会会長
業 務 執 行 理 事	福 本 正 弘	一般財団法人 岡山県国際交流協会事務局長
理 事	市 川 陽 美	岡山市市民協働局市民協働部国際課長
〃	浦 上 典 江	NPO法人 岡山日本語センター理事長
〃	大 月 史 嗣	学校法人加計学園 国際交流局長
〃	岡 崎 安 洋	岡山大学国際部 国際企画課長
〃	小 寺 恵 子	岡山県県民生活部国際課長
〃	近 藤 英 生	津山国際交流の会事務局長
〃	島 津 義 昭	国際貢献大学校運営機構 理事長
〃	角 田 みどり	一般社団法人 大学女性協会 岡山支部支部長
〃	竹 本 千代子	国際ソロプチミスト岡山会長
〃	中 村 正 芳	岡山県教育庁高校教育課長
〃	橋 本 信 子	元 岡山県教育委員会委員長
〃	松 畑 熙一	国立大学法人 岡山大学名誉教授
〃	森 健太郎	学校法人森教育学園副理事長
監 事	渦 古 隆	一般社団法人 日本旅行業協会中四国支部岡山地区委員会委員長
〃	吉 岡 誠	岡山青年国際交流会顧問

(五十音順)

新型コロナウイルス感染症に関する外国人相談状況

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、在住外国人の暮らしにも影響が及んでいます。窓口では、令和2年2～7月までに71件の相談が寄せられました。

国籍別

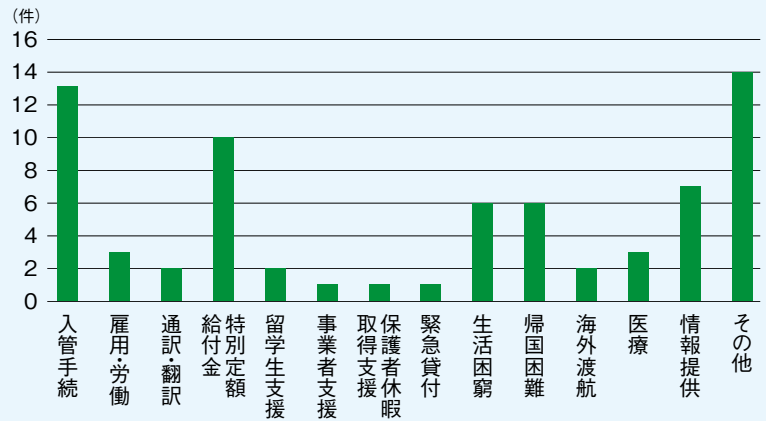


国籍別にみると日本人からの外国人に関する相談が最も多く、フィリピン、次いで中国とベトナムが同数となっています。

内容別では、入管手続きについての相談が最も多く、特別定額給付金に関する相談が続きます。航空便の運休で帰国困難となり支援を求めるケースや、外国人向けの情報提供に関する問合せも多くなっています。

このような状況を受け、協会では「生活を支えるための支援に関する情報」(9言語)や「岡山県知事メッセージ」(6言語)などをホームページやSNSから発信しています。

内容別



【翻訳ボランティア活動記】

ベトナム語翻訳担当

グエン・ティ・ツイ・ティエンさん
(ベトナム出身)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策などの情報を多言語で発信することにより、外国人が安心して生活ができたと思います。今後も外国人支援はますます大切になってくると思うので、外国人コミュニティや社会貢献のためにできる限りのことをしていきたいです。

事業報告

岡山県地域国際化推進団体連絡協議会

7月10日(金)

講師：美作市役所 企画振興部 営業課 ベトナム嘱託職員 サ・ティ・ジャン氏

県内の国際交流団体が相互の連携を図る連絡協議会において総会および研修会を行い、25名が出席しました。

総会では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業が中止や延期となっている現状を受け、各団体の取組みについて情報交換しました。

研修会では、美作市役所職員 臼井 絵里氏による美作市とベトナムとの交流事業の概要説明の後、講師のサ・ティ・ジャン氏が、共生のためにベトナム人の国民性や生



講師 サ・ティ・ジャン氏

活習慣の違いを伝える講座を実施したり、日本語教室で受講生からの相談を受けていると話しました。またジャン氏は、外国人が抱えている言語や異文化の壁を解決する方法として、外国人サポート団体の設立や地域活動への外国人参画促進などを挙げました。

参加者からは「美作市の取組みがよく分かり、とても良かった。外国人支援の課題や解決方法を参考にしたい」などの感想が寄せられました。



研修会の様子

中国語講座(入門、初級、中級、会話)

通年開催

共催：岡山県華僑華人総会 講師：県内在住留学生

中国語講座では、現在延べ39名の受講生が学んでいます。自分に合うレベルのクラスを選べるのが人気の理由のひとつです。



孫氏の授業風景

入門と中級で講師を務める孫爽氏は、言葉だけではなく中国の文化についても伝えることを理念として授業をしています。受講生の年齢層は幅広く、大人に混ざって入門を受講する小学6年生の受講生は「海外旅行で中国語に興味

を持ち入会した。発音が難しいけど頑張る」と意気込みを語りました。

一方、入門クラスより少しレベルのあがる初級クラスは、張澤氏が担当しています。「中国語を教えることは僕にとってもいい経験だと思う」と笑う張氏は、明るくテンポのよい授業で受講生をリードします。



丁寧な指導が評判の張氏

このほかに二つの会話クラスでは張時毓氏が上級者向けに指導しています。

どのクラスも受講生は熱心に取り組んでいます。

韓国語講座

通年開催

講師：入門コース、初級コース 岡山大学非常勤講師 金良禧氏(韓国光州出身)
会話コース 岡山県庁国際課国際交流推進員 朴浣氏(韓国大邱出身)

韓国出身の講師を迎え開催している韓国語講座では、入門コース14名、初級コース15名、会話コース11名が学んでいます。

韓国語を初めて習う人を対象とする入門コースでは、文字や文法の基礎を覚えて、簡単な挨拶や会話ができることを目指しています。韓国語を習った経験のある人が参加する初級コースでは、語いや文法を学び自然な韓国語が話せるよう、学習に取り組んでいます。中級レベルの人を対象にした会話コースでは、語いの微妙なニュアンスの違いや文法、読み、発音を習い、会話中心の練習をしています。



会話コース講師の朴浣氏

「K-POPや韓国ドラマが好き」「友人と交流をしたい」「TOPIK(韓国語能力試験)の準備のため」など受講生の目的はさまざまですが、韓国語を楽しく学びたい気持ちと学習への強い意志は同じです。

経験豊かな講師陣から韓国の習慣や生活、文化、観光等の話を直接聞くことができます。のも魅力の一つです。



入門コース、初級コース講師の金良禧氏



入門コース授業の様子

インドネシア語講座(初級)

通年開催

共催：岡山インドネシア友好協会 講師：県内在住留学生

「スラマンレ(こんにちは)」と13名の受講生の和やかな挨拶で始まったのは、インドネシア語講座です。岡山インドネシア友好協会代表の谷本基氏を中心に、全国でも珍しいインドネシア語の講座を毎週土曜日に開催しています。

この日のネイティブの講師はインドネシアからの留学生、グナワン氏です。着任からこの夏で2年目を迎えました。「インドネシアの文化や言語を学ぶ人が多くいることがとてもうれしい。日本語にはない発音を教える



グナワン氏

のは大変だが、頑張りたい」と笑顔で語りました。谷本代表はグナワン氏とともに教壇に立ち、豊富な知識と経験を生かして指導のサポートをします。

受講生のひとりはこの講座について「グナワン先生の的確な教え方、谷本先生の流ちょうな話し方や面倒見の良い人柄に魅力を感じる」と高く評価しました。



講師2人体制の授業

がいこくじんりれーえっせい
外国人リレーエッセイ

わたし の なん 何でも
自 慢

かずのびっしゅ・あぬしゅかさん
(インド出身)

- 所属：
おかやまだいがくだいがくいのうがくぶほかせかてい
岡山大学大学院農学部博士課程
(環境生命科学)
- 日本在住歴：2年5か月



いんどぶんかてきたようせいじまん
— インドの文化的多様性が自慢

「インドを200
キロ以上移動する
と、言語、食習慣、
慣習、服装が変わ
る」という格言があ
ります。インドが、ど
れほど豊かで多様



性に溢れているか想像できますか。
ヒन्दウー教の女神ドゥルガー

インドには公式に英語を含む22の言語、非公式には1000
以上の言語があります。私はベンガル語(母語)、ヒンディー
語、アッサム語、英語を話すことができます。

べんがるじんに生まれたことが自慢
— ベンガル人に生まれたことが自慢

私は、映画「シティ・
オブ・ジョイ」の舞台とし
て知られるインドの東、
ベンガル地方の Kolkata
で生まれました。Kolkata
は約200~300年前に
インドの首都であり、現在
は文化の都と呼ばれてい
ます。人々はベンガル語を話し、食事は日本と同じく主に米や
魚を食べます。



母と私 — 映画館にあるロソゴラの前で—

ここで驚くべき事実を紹介します。インドの家庭でカレーを
食べたいと頼むと、混乱をまねくでしょう。インドにカレーと呼ば
れる食べ物はないからです。1800
年代、英国の東インド会社がインドを
植民地化しましたが、英国人はインド
料理の名前を発音するのが困難で
した。そこで彼らは様々な食べ物を
ひとくくりにして、スープ、カレー、米、
私の家の来客のための食事



パンと名付けたのです。

ベンガル家庭の一般的な食事を紹介します。ふわふわ
の白いご飯、炒めた苦瓜、魚の頭とレンズ豆を煮込んだ
スープ、羊肉とマンゴーチャツネのカレー、からしをつけて焼
いたインドヒラ。付け合わせにはポ
テトフライ、揚げた魚とナス。食後に
「ミシュティディ」を口の中で溶かし
て楽しめます。



菓子はインドの人付き合いにお
いて大切なものです。誰かの家を
訪問する時や友人や同僚に良い知らせがある時には菓子を
持参します。赤ちゃんが生まれたり友達や家族、隣人に菓子を
配ります。結婚祝いには、さまざまな菓子を味わいます。
Kolkataを訪れたら「ロソゴラ」(私にとって、世界で最も柔ら
く口の中で溶けるおいしい菓子の1つ)と「ミシュティディ」をぜ
ひお試しください。

コルカタの菓子

ベンガルと日本の文化的背景は
重なり合うところが多いです。例え
ば、ベンガルには貧しい人々の服の
修理方法として始まった、主に村の
女性が布地に物語を描く「カクタ刺
繍」があり、日本の刺し子や継ぎとよ
く似ています。世界の文化のつなが
りに驚くとともに、互いに心を寄せ
合うことが世界をひとつにするのだ
と思います。



ベンガルの伝統衣装
サリーをまどって

インドの西の都市ブネーには
「ブネー岡山友好公園」と呼ばれ
る後楽園そっくりの日本庭園があり
ます。私はインドと日本の強い絆を感
じて胸がいっぱいになります。2国の
懸け橋になれることが私の自慢です。

がいこくじん
外国人のための
じょうほう こ - な -
情報コーナー

おかやま す がいこくじん みな せいかつ やく た じょうほう
岡山に住む外国人の皆さんのために、生活に役に立つ情報
しょうかい こんかい こま きんぎゆうれんらく きき ばん
を紹介します。今回は、困ったときの緊急連絡先です。110番と
ばん でんわ おぼ
119番は、いつでも電話できるように、覚えてください。

ぼろぼろ ひがひ こうつう じこ
どろぼうや暴力の被害、交通事故にあったとき

けいさつ でんわ ばん
警察に電話する(110番)

かね じかんでんわ
お金はいりません。24時間電話できます。



Call 110

せいかつあんぜんまにゆうある
生活安全マニュアル

(英語・中国語・韓国語・ベトナム語・
インドネシア語)



きゅう ひょうき おお じぶん びょういん い
急な病気や大けがで、自分で病院に行けないとき

きゅうきゅうしゃ よ ばん
救急車を呼ぶ(119番)

かね じかんでんわ
お金はいりません。24時間電話できます。



Call 119

きゅうきゅうしゃりようがいで
救急車利用ガイド

(英語・中国語・韓国語・イタリア語・
フランス語・タイ語)



かじ
火事のとき

しょうぼうしゃ よ ばん
消防車を呼ぶ(119番)

かね じかんでんわ
お金はいりません。24時間電話できます。



Call 119

かじ きんじょ ひと
火事のときは、すぐに近所の人
に「火事だ」と知らせてください。

おかやま いりょうじょうほうねっと えいご ちゅうごくご かんこくご
岡山医療情報ネット (英語・中国語・韓国語)

がいこくご つか びょういん やす ひ あ
外国語を使える病院や、休みの日に開いてい
びょういん しら
る病院を調べることができます。



おかやま たぶん かきょうせい
岡山多文化共生MAP

えいご ちゅうごくご かんこくご ぼるとがるご べとなむご
(英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・ベトナム語)
ちず ちか びょういん きが
地図で、近くにある病院を探することができます。



くわ じょうほう がいこくじん おかやま せいかつじょうほう ほんどぶく み
詳しい情報は、「外国人のための岡山生活情報ハンドブック」をご覧ください。



倉敷国際親善協会 (KAIF)
(Kurashiki Association of
International Friendship)

団体概要

1980年(昭和55年)3月設立、総会を経て通信第1号の発行、令和2年7月現在483号となります。ホームステイ、ビジットを中心に、市の行事への協力、会員の親睦も図り現在に至っています。外国人の受入人数4060名、受入国110か国(令和元年度末まで)。会員の会費のみで運営されている民間団体です。

会長

稲毛 良泰 Tel&Fax:0866-29-3020 E-Mail:irodoriuji@yahoo.co.jp

事務局

高見 美子 E-Mail:himawarittyskt5@oboe.ocn.ne.jp

◆会員募集中(年会費4,000円(学生2,000円))

Facebook: <https://www.facebook.com/Kurashiki-Association-of-International-Friendship>

「倉敷国際親善協会」で検索

ホームページ: <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/2659.htm>

活動内容

発足当時は、日本を訪問する外国人も珍しく、観光でホテル滞在の方の夕食後の短いビジットのみでした。家庭に招き、もてなし、日本を知ってもらい、またそれを機会に世界に友だちを作るという目的でした。日本の家庭を訪問というのは彼らには大層喜ばれました。最近では、留学生のホームステイとJICA中国センター研修員の1日ビジットが毎年の恒例行事になっています。

昨年度の京都アメリカ大学コンソーシアムの大学生7名、2泊3日のホームステイは、それぞれの家庭でいい思い出を作ったことと思います。

JICA中国センターの事業で「サブサハラ、アフリカ初等理数科教授法と評価手法」を学ぶアフリカからの教育関係者、岡山大学で3か月研修中の7名を、1日の行程で玉島に招待。ほぼ正式なお茶会体験、それから老舗の豆腐製造の見学、西爽亭、円通寺見学と良寛荘での昼食には「しのうどん」、お箸で苦労していました。彼らには初めて日本の文化に触れる機会でした。

小さい草の根活動ですが、これからも外国の方との友情を深めて継続していけるよう願っています。



JICA研修生 玉島にてお茶会体験



京都コンソーシアムホームステイ
ホストファミリーとのお別れ

けんしゅういん たよ 研修員からの便り

メイ・ティン・チュウさん (ミャンマー連邦共和国)
 平成27年度 海外技術研修員 (研修科目: 生物学、遺伝子解析)
 研修先: 岡山大学大学院保健学研究科



私は家族と一緒に、ミャンマー北部のピン・ウー・ルウィンという標高約1110メートルに位置する眺望のよい丘陵の町に住んでいます。岡山から帰国後、国の保健・スポーツ省管轄のマンダレー地方ピン・ウー・ルウィン支部にある医学研究機関で勤務しました。その後、マンダレー医療技術大学の修士課程に進み臨床医学の研究に専心しました。現在は同保健・



防護服を着たメイさん

スポーツ省の免疫学研究部門に所属し、治験・臨床研究スタッフとして共同研究を推進しています。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の危機のさなか、私は災害管理 (感染対策) チームに加わり感染症の診断を行っています。私たちの主な役割は隔離された検疫センターで症例発見を行うことです。この世界的なパンデミックと闘う我が国のことを思いながら、私は

一人の医療従事者として共に闘えることの使命感と誇りを胸に秘めています。ミャンマーの岡山大学国際同窓会 (前列左端) 岡山では、高度な臨床実験の技術を学ぶ貴重な時間を過ごしました。研究室の関係者やスタッフとの時間をとても懐かしく感じます。今の職場では、研修で学んだ知識と経験を同僚や学生にも伝える立場となり、研究プロジェクトや専門分野に応用しています。今後も挑戦的な研究課題に取り組んでいきたいです。



ミャンマーの岡山大学国際同窓会 (前列左端)

OPIEFをはじめ、この海外技術研修への参加と日本での暮らし、そして私に新たなキャリアの機会を与えてくださったミャンマーと日本の関係者の皆様に、この場をお借りして心から感謝を申し上げます。

EVENT CALENDAR

イベントカレンダー

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により、変更または中止になる可能性があります。あらかじめご了承ください。最新情報は当協会のホームページをご確認ください。

10月

11日(日) オンライン開催 国際貢献・協力セミナー

『世界ふしぎ発見!』のミステリーハンターとして活躍、現在は「エシカル消費」を軸に活動する末吉 里花氏を迎え、暮らしの中からできる国際貢献を考えます。

- と き 令和2年10月11日(日) 13:30~15:30
- 実施方法 無料のウェブ会議システム「Zoom」
- 講師 末吉 里花 氏 (一般社団法人エシカル協会代表理事)
- 対象 一般県民 ●参加費 無料
- 共催 岡山発国際貢献協議会、特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会
- 申込み 企画情報課
- その他 詳細は協会ホームページをご確認ください。

10月

10月または11月 オンライン開催 第1回「外国人と共に学ぶ災害時対応」研修会

災害時の外国人支援について学びます。

- と き 令和2年10月または11月
- 実施方法 無料のウェブ会議システム「Zoom」
- 内容 災害救援専門ボランティア (通訳・翻訳) の制度説明、講義
- 対象 災害時の外国人支援に関心のある方
- 参加費 無料
- 定員 60名 (要申込み)
- 共催 岡山県、岡山ロータリークラブ
- その他 この研修会は岡山県災害救援専門ボランティア (通訳・翻訳) 養成講座を兼ねています。
- 問合せ 企画情報課 (令和2年9月下旬受付開始予定)



11月

2日(月)～14日(土) 海外マガジン・書籍の無料配布

過去の海外マガジンと除籍になった書籍を無料でお配りします。

- と き 令和2年11月2日(月)～11月14日(土)
10:00～17:00(日曜を除く)
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 配布マガジン TIME、NATIONAL GEOGRAPHIC、TUOI TRE CUOI TUAN、読者、人民中国 ほか
- 注意 海外マガジン・書籍は一人1日5冊まで。譲り受けたマガジン・書籍の売却はできません。また、個人の読書・学習以外の目的に利用することはできません。
- 問合せ 企画情報課

14日(土) 日本語ボランティアスキルアップ研修会

県内在住外国人の日本語学習機会の充実を図るため、日本語指導スキルアップのための研修会を実施します。

- と き 令和2年11月14日(土) 13:00～16:00
- ところ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 対象 日本語学習指導の経験のある方等
- 参加費 無料 ●定員 30名(要申込み)
- 申込み 企画情報課(10月中旬受付開始)

28日(土) 英語による絵本の読み聞かせ会

県内在住の外国人講師が英語で絵本の読み聞かせを行います。読み聞かせのあとは、講師の母国の話を聞いて、外国の文化について一緒に学びましょう。

- と き 令和2年11月28日(土) (予定)
- ところ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 講師 県内在住外国人
- 対象 協会会員の県内在住の子ども(3歳～小学校6年生)とその保護者
- 参加費 無料
- 定員 40名(要申込み)
- 問合せ 企画情報課(10月下旬受付開始予定)

12月

5日(土) 地球市民講座

注目すべき国・地域や地球規模の課題などを取り上げ、世界の現状を学びます。

- と き 令和2年12月5日(土) 14:00～16:30(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 対象 一般県民 ●参加費 無料
- 定員 80名程度(要申込み)
- 申込み 企画情報課(11月上旬受付開始予定)

12日(土) オンライン開催 SDGs推進事業「岡山未来デザインSDGs ～ユース×SDGs×グローバル～」

地域創生に挑む西栗倉村の職員 上山 隆浩氏の講演と、県内の学生等の活動発表を通してSDGsについて学びます。

- と き 令和2年12月12日(土) 13:00～16:30(予定)
- 実施方法 無料のウェブ会議システム「Zoom」
- 対象 一般県民 ●参加費 無料
- 定員 40名(要申込み)
- 申込み 企画情報課(11月中旬受付開始予定)

19日(土) 留学生と県民との交流会

県内在住の留学生等が講師となり、出身国の文化や習慣などの紹介をします。

- と き 令和2年12月19日(土) 13:00～15:00(予定)
- ところ 岡山国際交流センター8階 イベントホール(予定)
- 参加費 協会会員、外国人、高校生以下:無料 一般:500円
- 定員 30名(要申込み)
- 申込み 企画情報課(11月中旬受付開始予定)

会 報誌「おかやま国際交流」No.140に関するアンケートのお願い

会報誌「おかやま国際交流」No.140をご覧いただき、誠にありがとうございます。今後の参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いいたします。

アンケートフォーム



会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員：2,000円 団体会員：10,000円
賛助会員：30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00～17:30(月～土曜日)

E-mail:kokusai@opief.or.jp



問合せ

一般財団法人岡山県国際交流協会

企画情報課 企画情報班

☎086-256-2914 (月～土 9:00～17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月～土 9:00～17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00～18:00)

[休館日]12月29日～1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月～土 9:00～17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: https://twitter.com/opief_okayama

E-mail: kokusai@opief.or.jp

協会HP

